

# 平成27年度「学校評価」 結果公表シート

学校法人 池浦学園  
熊取みどり幼稚園

当園ではこの度、平成27年度の幼稚園学校評価として、園長のリーダーシップのもと教職員自己評価、学校関係者評価を実施いたしました。「二人でひとり」というキャッチフレーズのもと、子どもたちのために何をすべきかを皆で検討し、園の改善活動に取り組みましたので、その取り組みを本シートに纏め、公表いたします。

## I. 教育目標

### モットー

「心優しく、元気でたくましく生きる子供」

### 教育目標

「一人一人を大切に、質の高い教育を目指します。」

### 今年度のキャッチフレーズ

「二人でひとり！」

### 教育方針

- 1) 四大行事に取り組み、行事の練習を通じてやる気、粘り強さ・忍耐力・協調性などを養います。
- 2) 基本的生活習慣を身に付ける。個人として、ことば使い、あいさつ、返事、靴をそろえるなどの習慣を身に付ける。
- 3) 規範意識を身に付ける。集団として、ルールを知り、ルールを守り、自分の気持ちをコントロールする力を養います。

## II. 今年度の重点目標

「二人でひとり」のキャッチフレーズのもと、日々の教育内容をより充実させる。また、園の教職員全員で研修形式の会議を開き、園内の細かな問題点や課題を抽出し、改善できる内容について改善を行う。

## III. 評価項目と取り組み状況

評価項目	取り組み内容	今年度の取り組み状況
1 教職員の質の向上	日々子ども達の生活マナーの質を高める。	A 子ども達と一緒にマナーについて考えたり、意見を聞く時間を設けた。その結果、最終的にはマナーが守れていない子どもに対して教職員が注意する前に子ども同士で声を掛け合ったり、保護者が園に来られると大きな声で挨拶をしてくれるようになった。
2 保護者との対応	以前と比較して保護者から寄せられる問い合わせが細かくなってきているため、コミュニケーションミスが起きないように密な報連相を心掛ける。	A 1学期に関しては保護者との距離感がつかめず、迷いのあった教職員もいたようだが、とにかくコミュニケーションの量を多く取るようにし、先手を打つように働きかけた。2学期となると信頼関係を築くことができ、感謝の言葉を頂くなど、成果を出すことができた1年間だったように思う。
3 研修の充実	保育の内容だけでなく、幅広い視野をもって様々な知識を取り入れる。	B 顧問のコンサルタントに講師を依頼し、個人情報についての研修を受講した。幼稚園は犯罪のターゲットになりやすいことや、情報が漏えいしてしまう可能性はいつでもあることを認識し、ニュースなどを見ても他人事だと思わず、今後はどのように気を付けていかなど考えることができ、意識が高まったように思う。

### 【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

## IV. 今後取り組むべき課題

1 教育方針の浸透	子どもの将来を見据えて、知識も含めて忍耐力、集中力、協調性などを養うことができる園を目指す。
2 教職員の質の向上	保護者や園児の個人情報は当然のこと、園として社会的なコンプライアンスの意識を高める。
3 教育環境の構成	園児に園の中で社会のルールを指導できる教育環境を整える。

## V. 学校関係者の評価

- 自己評価は適正に行われており、課題の設定も適切であると言えます。
- 園児への教育体制、教職員への研修体制など、共に成長できる園であると見受けられます。
- 個人情報や不審者対策にも余念がなく、園児の安全を第一に考えている園であり、安心して預けることができると判断できます。
- 今後とも関係者共々、支援させて頂きたいと思っております。